## 運営団体 NPO法人TSK（都市・市民生活活性化協議会）について

すでに始まっている「高齢者・障がい者社会」において、民間がしっかりとした土台を持って互いを支え合うことはますます重要になっております。とはいえ、個人が、家族が、地域が元気でなければ助け合うことも不可能です。事業者も元気にならなければならず、都市・市民生活が活性化されることは、特にこの千葉県房総地域に於いてはとても重要です。

当会は、「都市・市民生活活性化協議会」として発足され、高齢者や障がい者を支えるためにできることを模索し、組み立て、ビジョンを持って将来の「個の力」を強化するための様々な企画を発案・具現化しています。

その中のひとつに「暮らすことコンシェルジュ」があります。

一般市民には、人間関係やビジネスなど多岐に渡った様々な悩みがあります。しかし、行政や民生委員に頼れることはわずかです。「暮らすことコンシェルジュ」は、それらの悩みを解決するために生まれました。「人間らしい」「人から人へ」に基づいた、各分野のプロフェッショナルが集った助け合いの"世話人仲間"。あらゆる人が社会の中で活躍できる場を生み出し、その橋渡しとなれるように活動すること、それが使命です。地域に根ざした事業者で構成されており、地域の一人一人、すべての人の助けとなれるように活動しています。

## TSKプレミアム「Apps」サービス開始

NPO法人TSKでは、相互の助け合いシステムの一環として、TSKプレミアムチケット「Apps」サービスを開始しました。様々なコンシェルジュの店舗で利用できる金券です。ただの金券でなく、定期的に行われる豪華プレゼントの抽選など、特典があります。様々な特典を受けられるようチケット裏面に住所・氏名等を記載いただけますようお願い致します。

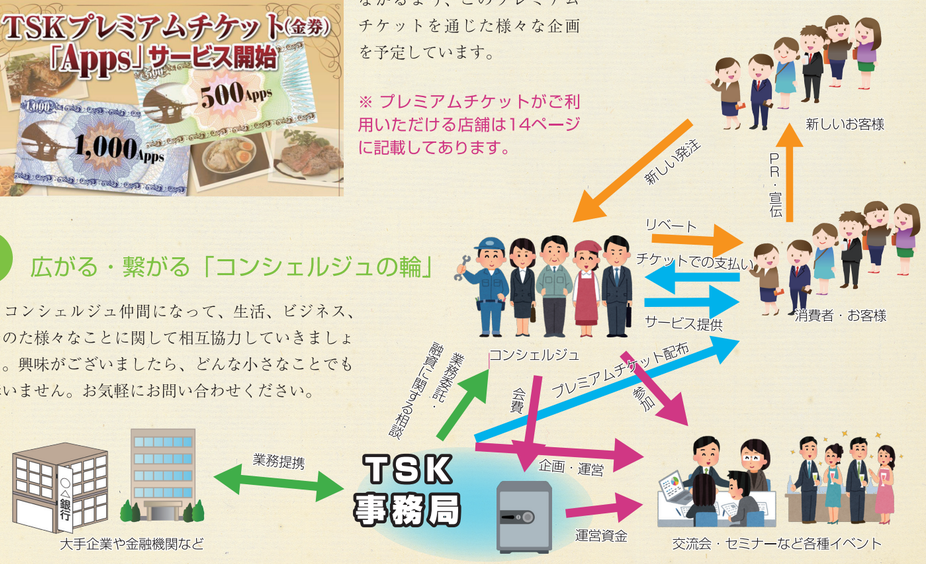
さらにTSKでは、上総・安房地区それぞれの交流や経済の活性化につながるよう、このプレミアムチケットを通じた様々な企画を予定しています。

中小企業や個人事業主は、なかなか大手企業と仕事の契約を結ぶことは難しいもの。また融資を受けることも簡単ではありません。それは事業規模が小さいことによる不安が原因です。コンシェルジュ仲間になり、団結することで、より大きなビジネスに挑戦できる土台ができあがります。
また、プレミアムチケットによってお客様も含めたお互いがお互いを宣伝する状況も生まれ、より活気のある地域になっていくと考えられます。

※ プレミアムチケットがご利用いただける店舗は14ページに記載してあります。

## 広がる・繋がる「コンシェルジュの輪」

コンシェルジュ仲間になって、生活、ビジネス、そのの様々なことに関して相互協力していきましょう。興味がございましたら、どんな小さなことでも構いません。お気軽にお問い合わせください。










# 「助け合い」「地域活性化」ってなんだろう

### Point! 互いが互いをごく自然に支えあう社会を築くために

理事長　鈴木 明夫氏

鈴木 明夫氏

私の実家は農家で、小さい頃から一戸ずつの農家がトラクターやコンバインを持つことに疑問を感じていました。共同で購入し、みんなで使う方が効率的だと思っていたのです。

さらに、大手企業を相手にしなければならない中小企業の経営者たちが互いに協力し合わないことにも疑問を感じていました。協力することで大きな組織となり、大手とも対等に商売ができるはずなのに、です。

「助け合い」「支え合い」の必要性、常々私が思っていることです。そして、それは中小企業だからこそ必要な精神なんですね。

また、弱者に対する支援の重要性も感じていました。それは公共サービスに頼るだけでは不十分であり、我々もできることを積み重ねていくことが必要です。私も介護事業を行っているのですが、まだまだ足りません。同じ志を持つ人々の力をより結集させていくことが、必要だと感じています。

それらを実現することが私の使命であると感じるようになり、仲間を募って活動している団体が「NPO法人TSK」であり、「地域活性k地域活性化コンシェルジュ」というわけです。「心」と「経済的な発展」の両立を目指し、活動しています。

### Point! 異業種交流の「コンシェルジュ会」と同業者連携の「分科会」

事務局長　櫛田 直也氏

櫛田 直也氏

コンシェルジュとは世話人という意味です。「地域活性化コンシェルジュ」とは、その名の通り、地域の人々のお困りごとに対する世話人会として組織されました。異業種の集まる「コンシェルジュ会」に参加することで一社では解決できない問題も多くの仲間たちの力で解決できるようになるメリットが生まれます。また、同業者の集まりである「分科会」も仕事においての具体的な連携や知恵を出し合う場としても機能しています。

### Point! 損をする人が誰もいない、まさに「三方良し」のシステム

コンシェルジュ　伊島 利守さん、一欽さん

我々建設業界では今までのやり方が徐々に通用しなくなってきています。特に営業や顧客の新規開拓といった点で顕著です。そんなとき、理事長の鈴木さんから「地域活性化コンシェルジュ」についてお話を伺い、これはすごいやり方だ!と直感しました。

私たち「事業者」も、仲間としての「同業者・異業種の方々」も、そして「消費者の方」にとってもプラスになるやり方が「地域活性化コンシェルジュ」です。損をする人が誰もいない、まさに「三方良し」のシステムです。

今までは、「自分の利益と相手の利益が一致しない「ため協力することができないこともありました。しかし、お互いみんながよくなることを考え、仲間として活動することで、いろいろな問題が解決できる。仕事も仲間も増え、みんながともに良くなっていく仕組みです。また、地域経済の活性化につながること取り組みは、この地で長く仕事をさせていただいている弊社にとって、地元への恩返しが同時にできるやり方でもあります。

この素晴らしい仕組みに参加してもらえる仲間を増やしていこう、そう決意しました。

**◆ プロフィール**

有限会社 伊島建築
木更津市を中心に注文住宅で家づくりを営む。地域の皆様に支えられている気持ちを常に感じながら、家族を笑顔にする安心の住まいづくりを心がけている。
●TEL 090-3214-6597　●住所 千葉県木更津市我妻1-3-27　●URL http://www.ijimakenchiku.com

コンシェルジュを応援しています

## 私には夢がある

かずさスタイル推進協議会
**会長　石川のりひさ**

◆ プロフィール
昭和23年木更津市中央2丁目（南片町）生まれ
昭和45年東京大学工学部都市工学科卒。国土交通省（旧建設省）入省後、国土・都市・住宅建築の行政に携わる。
現在は木更津ライオンズクラブ会長（平成23・24年会長）、木更津市南片町口調、平成24年八剱八幡神社祭礼委員長、等。

私には実現したい夢があります。それはこの木更津を、人が連携し交流する豊かな都市（人間交流都市）に復活させることです。

我が国が世界経済の中で、先進国としての力を今後とも保持してゆくためには、首都圏に力を集中し、強靭な国土を形成する必要があります。そのためにも、首都圏の環境、エネルギー、自然、食糧、住まい等の様々な課題を解決する事が大切で、房総半島地域はこれらを解決できる大きな潜在能力を持っています。

なかでも、かずさ4市地域はアクアラインを活用する陸・海・空の要所を占め、交通の利便性と自然環境の良さにおいて格段の魅力を備えており、使い方ひとつで素晴らしい地域になる可能性があります。

木更津市はかずさ4市でみると地理的に中心部であり、従来からも鉄道や道路のネットワークに優れ、行政機関や学校施設が多く立地して地域中心都市の色合いになっており、更にアクアラインの活用により、一層人々が交流、連携し居住できる可能性が高まってきています。

こうした利点を生かして、強い経済・産業力をつくり、これに基づいて、子育てや福祉分野に十分に気配りが出来る、住み良い町を実現する事が私の夢であります。

一つ一つ、様々な課題があると思います。私が今までに経験してきた街づくりの知恵と人脈ネットワークをフル活用して、木更津の活路をひらく新しい風となり、文化と産業を育む土となる覚悟をいたしております。

ＴＳＫの皆様と同じく「助け合い」・「地域活性化」を目指して、人に優しい豊かな地域を作ることで、一歩一歩、協調してゆけたら、素晴らしい力が発揮できると期待しております。

頑張りましょう。